

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 こそず 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 16日		～ 令和7年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 16日		～ 令和7年 2月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援 ①気持ちに寄り添う ②小さな成長を見逃さない ③行動の背景を大切に ④遊びを通じた成長支援 ☆その子の将来を見据え、今必要な力を、無理のない方法で丁寧に育てていくことです	・安心できる環境づくり ・スモールステップの設定 ・行動の背景を丁寧に分析 ・遊びを通じた発達支援 ・チームでの共有 ・保護者との連携 ※「その子らしさを尊重しながら、安心のなかで挑戦できる環境づくりをこれからも大切にしていまいります	<input type="checkbox"/> 専門性のさらなる向上 <input type="checkbox"/> 個別支援計画の精度向上 <input type="checkbox"/> 支援の「見える化」 <input type="checkbox"/> 感覚・環境調整の充実 <input type="checkbox"/> 保護者支援の強化 <input type="checkbox"/> P D C Aサイクルの徹底 ※子ども一人ひとりの「今」と「これから」を見つめ、寄り添う支援をさらに深めてまいります
2	保護者との連携が充実 ①日々の丁寧な共有 ②定期的な面談と振り返り ③相談しやすい環境づくり ④家庭とつながる支援 ☆子どもを真ん中に置き、同じチームとして支えることだと考えています	・「伝える」ではなく「共有する」姿勢 ・日々の小さな変化を見逃さない ・相談しやすい環境づくり ・ご家庭と一貫した関わり ・支援計画の見える化 ※小さな成長と一緒に喜べる関係づくりを大切にしています ※「困った時にすぐ話せる場所」であることを意識しています	<input type="checkbox"/> 定期面談の質の向上 <input type="checkbox"/> 連携ツールの充実 <input type="checkbox"/> 保護者向け学びの機会の提供 <input type="checkbox"/> 職員の専門性向上 <input type="checkbox"/> チーム支援体制の強化 ※信頼関係を基盤とした協働支援へと発展させていくことを目指します
3	職員のスキルアップ ①継続的な研修参加 ②事業所内研修の実施 ③チームで育てる風土 ④学びを支援に還元 ☆専門性と温かさの両立を目指し、これからも職員の成長を支援の質向上につなげてまいります	・事例検討の定期実施 ・得意分野の共有 ・資格取得の支援 ・振り返りミーティングの実施 ・日々のミーティング ・改善点の共有 ※職員個人の成長を組織全体の支援力向上につなげることを目標としています	<input type="checkbox"/> 体系的な研修制度の構築 <input type="checkbox"/> 外部専門職との連携強化 <input type="checkbox"/> 事例研究の深化 <input type="checkbox"/> 資格取得・専門分野強化の支援 <input type="checkbox"/> 組織としての学習文化の醸成 ※子ども一人ひとりのより質の高い支援につながる仕組みづくりを進めていきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域・他機関との連携不足 ①地域の関係機関との情報共有の機会が限定的 ②地域行事やネットワーク会議への参加が少ない ③事業所の取組を地域へ発信する機会が不足している 地域の一貫として役割を果たすことが今後の重要な課題ととらえています	・業務多忙による外部連携時間の不足 ・連携体制の仕組み化不足 ・情報発信の不足 ・地域資源の把握不足	<input type="checkbox"/> 連携体制の仕組み化 <input type="checkbox"/> 定期的な情報交換の実施 <input type="checkbox"/> 地域ネットワークへの参加 <input type="checkbox"/> 地域資源の把握と整理 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化 ※地域全体で子どもを支える協働体制の構築を目指します
2	職員の業務負担 ①記録、個別支援計画の作成 ②保護者対応 ③送迎業務 ④会議、研修参加 支援の質を大切にすることで、職員一人ひとりの業務負担が増加しています	・業務量の増加と多様化 ・業務の属人化 ・業務効率化の仕組み不足 ・人員配置と時間配分の課題 ※個人の努力不足ではなく、組織的な業務設計の課題であると認識しています	<input type="checkbox"/> 業務の見える化と整理 <input type="checkbox"/> 役割分担の明確化 <input type="checkbox"/> 記録業務の効率化 <input type="checkbox"/> 事務時間の確保 <input type="checkbox"/> 心理的安全性の確保 ※質を保ちながら作業時間の短縮を図ります
3	支援の個別化の課題 ①個別支援計画が形式的になりやすい ②評価や振り返りが十分に行えていないケースがある ③成長過程の可視化が弱い 個別支援は「計画書をつくること」ではなく、日々の関わりに具体的に落とし込まれていることが重要です	・集団支援中心の運営体制 ・アセスメントの不足 ・計画と実践の連動不足 ※「意識不足」ではなく、仕組み、時間、共有体制の課題であると認識しています	<input type="checkbox"/> アセスメントの強化 <input type="checkbox"/> 個別支援計画の具体化 <input type="checkbox"/> 個別対応時間の確保 <input type="checkbox"/> 職員間の支援統一 <input type="checkbox"/> 評価と振り返りの仕組み化 ※個別化の質を高めることで、より実感のある成長支援につなげていきます